

背景・現状

- ・市町村には林業技術職員が少ない
- ・知識や経験が不足しているなど

→ 人材の育成が急務

※ 各種会議や管内市町村に対する個別打合せ等により、市町村林務担当者から森林・林業行政に係る意見・要望等を伺い、多数の市町村から意見があった

→ 空知総合振興局森林室と連携し取り組む

活動の方向性

●市町村森林整備計画実行管理推進チームに関する打合せを実施

- ・地域の森林・林業に関する課題
- ・推進チームの活動方法
- ・「森づくり勉強会」実施に関する聞き取り
- ・森林室、国有林への要望

→ 結果分析、活動に反映

市町村林務担当者の技術支援となるよう、段階的にレベルアップできる「森づくり勉強会」実施

平成28年度の取り組み

取組内容

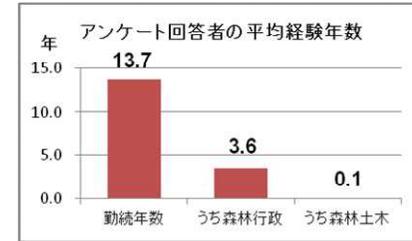
○「市町村の森林・林業行政に関するアンケート」調査による要望把握

【調査内容】経験年数、業務経験度、勉強会の参加希望や内容について

- ・平均経験年数：勤続年数13.7年、うち森林行政経験3.6年(3年未満多い)
- ・業務経験度：森林・林業業務に関し、経験の少ない者が多い
- ・勉強会の実施希望・内容：主伐・間伐、森林の基礎知識、森林の見方が多い

○署における民有林支援体制（サポートチーム）による取り組み

- ・アンケート調査の実施、技術支援すべき内容の決定、勉強会の内容、実施後の検証など署全体で活動を推進



- 管内24市町対象実施(26名回答) -

実施事項

○「森づくり勉強会」開催…振興局と連携し3回の実施

<第1回> 民有林における森林づくりの勉強会

人工林間伐における収穫調査、事業設計、収支予測等の実習により、森林づくりの基本体系について技術支援

<第2回> 国有林野事業の施業実績を活用した勉強会

人工林間伐における高性能林業機械の活用、森林作業道等の路網作設の視察により、国有林野事業で推進する低コスト作業システムによる森林づくりについて技術支援

<第3回> 測量器具操作方法の勉強会と勉強会振り返り

事業地におけるコンパス測量実習により、地況把握について技術支援。勉強会全般についての意見交換。



成果

- ・勉強会を3回実施、延べ78名の参加者に「森づくり」の基本を技術支援することが出来た
- ・意見交換の中で、踏査等についての実際の現場での技術指導、森林計画策定に当たった具体的な施業方法や事例の紹介、間伐調査の方法など、今後に向けた技術支援の内容を把握することが出来た



今後に向けて

- ・引き続き勉強会を実施してほしいとの要望を踏まえ「森づくり勉強会」を継続
- ・具体的な施業方法や事例の紹介等を通じた技術支援を実施